

※首都圏直下・南海トラフ等大型地震は前兆検知から発生までの日数は数日の可能性が高いですが、No1778前兆は30年の観測歴上最長継続の最大に難解な変動です。No1778前兆につきましてはPHP新書「地震予報」に記したため、読者の皆様に出版後の前兆変動の変化について続報公開しています。No1778以外の他の地震前兆につきましては本HPでは公開できません。E-mail またはFAXで配信している観測情報でのみ公開しています。本観測研究をご支援下さる皆様にNo1778以外の別の地震前兆変動の有無や発生推定内容等の観測情報を配信しています。観測情報配信の「公開実験」に是非ご参加下さい。2024年1/1発生の「能登半島地震M7.6」につきましても、2023年12月31日の午前11時に、M7.3±0.5の地震が1/2±2に発生する可能性「予報」を観測情報配信参加の皆様に配信し、地震発生に間に合いました。No1778に関しては解説資料の32頁～35頁を参照下さい。

※2024.8/8発生の日向灘M7.1地震は、7/27 高知観測点の複数観測装置に前兆変動極大が綺麗に観測され（前兆規模M6.1±0.5、深海補正M0.9±3、推定規模M7.0±0.5）、前兆極大から地震発生までの日数はプレート境界型の遅いパターンTmap=12日で発生致しました。またその後は一切大型地震が推定される前兆変動は観測されておりませんでしたので、南海トラフ巨大地震発生の可能性は考えられないことを、毎日、高知観測点全観測基線波形を掲載して、日々配信の観測情報で配信公開致しました。

No1778長期変動 4/18 長野北部 M5.1 ← No1778推定領域内発生地震

Stage-33は、3/20±1を示す

→ 初現 3/20.6 ←

極大 4/3.6

Stage-34

4/29 (4/28~5/2) 発生の可能性

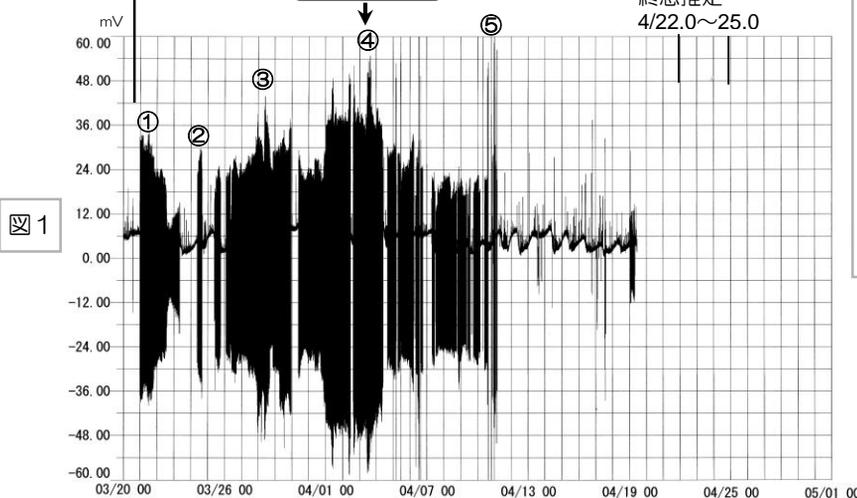


図1

◆Stage-34の顕著特異変動部の変化内容

各初現~小ピークをTfap:Tmap=20:13で計算した各示す日は、各次の小ピークである関係。

初現	小ピーク	示す日	次の小ピーク
3/20.6~	① 3/21.5	→ 3/23-24	3/24.5
3/22.0~	② 3/24.5	→ 3/29±2	3/28.4
3/26.1~	③ 3/28.4	→ 4/3±2	4/3.6
3/30.4~	④ 4/3.6	→ 4/13±2	4/11.0
4/7.0 ~	⑤ 4/11.0	→ 4/18±2	4/18 M5.1

◆図1に示したStage-34のCH26顕著特異変動には、以前Stageと考えたような小ピークが現れています。通常基線から顕著特異変動となる時を各初現として、各小ピークを極大とすると Tfap:Tmap = 20:13 経験則使用で各次の小ピークを示す興味深い関係が認められます。（上記参照）

長野県北部地震
最大震度3以上の地震

- 4/18 20:19 M5.1-10km(5-)
 - 4/18 23:39 M4.4-10km(4)
 - 4/19 00:08 M3.4-10km(3)
 - 4/19 01:02 M4.1-10km(4)
 - 4/19 01:53 M3.7-10km(3)
 - 4/19 02:41 M3.1-10km(3)
- 気象庁発表速報値

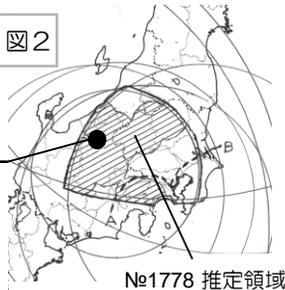


図2

No1778 推定領域

◆右上記載の①~④の小ピークからは、次の小ピークを示しましたが、⑤の小ピークの次の初現が認められません。そして⑤の小ピークから示された日は4/18±2でした。この4/18に推定領域内である図2に示す長野北部地震が発生致しました。確定は出来ませんが、⑤の小ピークが示した日に次の小ピークが現れず、中規模地震発生となった可能性が示唆されます。無関係ではない可能性有。

◆⑤の小ピーク以降はPBF特異が継続していますが、図3のとおり時折短時間顕著特異変動が弱く現れています。本日はやや大きい。4/22~25に現在継続中のPBF特異が静穏化するか注意して観測を続けます。

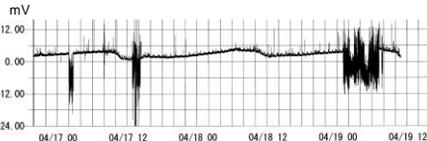


図3 CH26のPBF特異基線に時折出現している弱い顕著特異変動

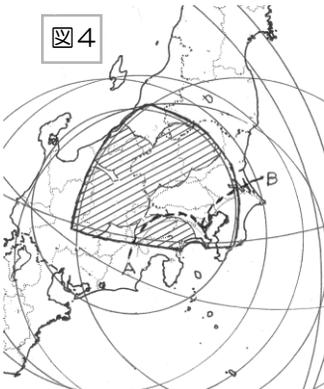


図4

●推定領域：図4の太線領域内=大枠推定領域
図4斜線域=可能性が考えやすい推定領域
震央が火山近傍領域を含む可能性高い

●推定規模：主震 M8.0±0.3 または
複合の場合=M7.3±0.3 + M7.1±0.3 他等
Log L=0.5M-1.8 (Utsu.) 式で 余震を含まない大型地震の断層長 Lkmが合計で約110~150km程度となる様な複合地震活動の可能性（群発的な活動の可能性も有）
※直近で噴火の可能性が考えられる変動はないため、現状では震央近傍火山の噴火の可能性は考えにくい。但し、今後出現する可能性有。出現した場合は続報予定。

●推定時期：4月29日（4/28~5/2）が現状考えやすい 今後の観測で修正予定

- 推定地震：震源浅い陸域地殻地震
- 推定発生時刻：午前09時±2 or 午後06時±3（午前09時±2の可能性若干高い）
- ※30年の観測で初めて体験する長期継続変動のため推定が間違っている可能性も否定困難

※仮に推定に近い活動が生じた場合でも被害が少ないことを祈ります。